

令和8年度

誰でも学べる古文書教室

古文書を読みたい、古文書を読めるようになりたいという初心者向けの講座です。町内に残る古文書を使って、古文書学習の基礎や江戸時代の人々の暮らしぶりを、わかりやすく解説します。全3回の開催ですが、1回だけでも受講できます。定員30人の事前予約制です。

講師：小須田 基弘（こすだ もとひろ）先生

昭和30年生まれ、信州大学教育学部卒業。県下の学校に勤務。『佐久町誌歴史編 近世』など佐久地域の自治体誌の編纂・執筆に携わる。長野県シニア大学古文書教室講師。小諸市古文書調査室勤務。佐久穂町大日向在住。

第1回 「通行手形など旅に関わる古文書を読む」

令和9年1月16日（土） 午後2時00分～3時30分

江戸時代は、人々が比較的自由に旅に出られる時代になっていましたが、関所通過などの課題がありました。「関所手形」「往来手形」などの古文書を読み解き、昔の旅の様子を見てみたいと思います。併せて、古文書の読み方の基本について学んでいきます。

（予約受付は定員30人になり次第締め切り）

第2回 「博奕^{ばくち}に関わる古文書を読む」

令和9年2月13日（土） 午後2時00分～3時30分

今の世の中でも賭博は禁止されていますが、江戸時代もきびしく禁止されていました。それでもやってしまう輩はいて、役人に見つかってしまい、「もうしません、お許してください」と詫言っている文書などが残されています。そのあたりの様子を読み解いてみたいと思います。併せて、古文書の読み方の基本について学んでいきます。

（予約受付は1月16日（土）午前8時30分より、定員30人になり次第締め切り）

第3回 「八郡山新道開発計画に関する古文書を読む」

令和9年3月20日（土） 午後2時00分～3時30分

江戸時代後期に、八郡山に新道を造って、諏訪郡から佐久郡を通り抜け、紀州藩や水戸藩の御用米を江戸まで運ぶという計画が何度か持ち上がりましたが、佐久の村々で反対をし、そのたびに撤回させたということがありました。そのあたりの様子を古文書でみていきます。併せて、古文書の基本について学んでいきます。

（予約受付は2月13日（土）午前8時30分より、定員30人になり次第締め切り）

○会場：佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」中会議室

○受講料：各回 200円

○予約は佐久穂町公民館窓口、電話（0267-86-2041）またはホームページにて受付

佐久穂町公民館主催

水と緑のうるおい 人の営みが奏でる未来のふるさと 佐久穂町